

市ケ尾中Times

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/ichigao>

<学校教育理念>

自立貢献

発行者：校長 竹下 恭子

市ケ尾中 Tel 045-973-3400

通常登校スタート。分散登校中も温かい見守りありがとうございました。

校長 竹下 恭子

いつの間にか季節は秋に移りました。平安時代の随筆に「野分のまたの日こそ、いみじうあはれにをかしけれ。」(『枕草子』)とあり、秋の台風明けの情景が、実感を込めてこのように記されています。

8月の臨時休校、9月の分散登校と新型コロナウイルスの感染状況に対応する日々が続きました。保護者の皆様、地域の皆様には教育活動の変更や新たなお知らせをすることが多く、その都度、ご理解やご協力をいただきました。A,Bグループごとの登校、期末試験、ロイロノートによる健康観察、新たなAI教材の試行導入など、生徒の皆さんにとっても、慣れない中での生活が続いていたと思いますが、ようやく緊急事態宣言が解除となり、10月4日からクラス全員の通常登校に移行しました。

9月中は「はやくみんなと会いたい!」「A(またはB)グループの人どうしてるのかな」「行事ってどうなるのでしょうか。」「部活はいつから?」など心配したり、クラスの仲間のことを気遣ったりする生徒の皆さんの姿がありました。

そんな一人ひとりの思いや悩み、声を聴きながら10月からの通常登校をスタートさせていきます。しかしながら、感染症がすっかり収束し、落ちついた訳ではありません。

授業や行事、部活動等において、マスクの着用や室内の換気、手洗いや消毒など、引き続き基本的な感染対策を講じて実施していきます。

コロナ禍であってもさまざまな教育活動が持続、継続できるように方法や内容の見直し、工夫をしながら今後も前を向いて進んで参りたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様、引き続きご理解、ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。



9月から昇降口や各フロア等に設置してあるアルコール消毒液の台数を増やしました。昼食時には新たに購入した飛沫防止ガードを生徒個人の机に設置して黙食をしています。(写真参照)

よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 区最優秀賞を受賞したスピーチを全文紹介します

6月、青葉区国際平和スピーチコンテストの審査会があり、3年1組 大矢 果柊さんが見事に最優秀賞を受賞し、7月に横浜市の本選に出場しました。今回、そのスピーチの全文を紹介します。尚、大矢さんは他の小中学校の代表者とともに、よこはま子ども国際平和実行委員として市長より委嘱を受け、さまざまな活動に参加する予定です。

全ての生き物に幸せを

想像してみてください。今、あなたの体温は39度で熱があります。気候変動によって地球も同じ状況に直面しようとしています。国際的な対策として、パリ協定では世界の平均気温上昇を1.5度に抑える必要があると指摘しています。もし、2度になった場合、体温で示したような高熱が地球規模で起こり、私達人間の力で元の状態にするにはとても困難になると警告しています。しかし、コペルニクス気象変動サービスは2020年時点で、すでに1.25度上昇したと発表しました。もう、時間はありません。原因の一つとして、二酸化炭素の排出量が重大な問題です。

以前海でゴミ拾いをした時、そのほとんどがプラスチックでした。鳥は足あとを残す。人間はプラスチックゴミを残す。私は嫌悪感と虚しい気持ちでいっぱいになりました。

スーパーに行くと、いつも不思議に思います。なぜ、野菜や果物よりも包装しているプラスチックの方が目立つのでしょうか。なぜ、バナナは実を守るための皮があるのに、さらにプラスチックで包むのでしょうか。持ち運びにとっても便利である反面、作って処理する過程で多くの二酸化炭素を排出します。飴だって、全て同じ袋に入っているともいいと思いませんか。たとえ、溶けてくっついてしまったとしても。動物の命や私達の未来が失われてしまうよりずっといいはずですよ。

そこで私は、地球を守ること＝世界の人々の未来を守ることだと考えます。なるべくプラスチックが使われていないものを選んで使用し、知識をつけて共有することを大切にしています。私は暮らしの中で、外出時にはマイカップやストローを持ち歩き、竹で出来た歯ブラシ、サンドウィッチやおにぎりには繰り返し使えて土に還することができるエコラップを使用するようにしています。そして買い物も投票と同じです。例えば、環境への配慮をしている企業の製品を選ぶこと。一人ひとりが有権者であり、それを放棄してはいけません。あなたや私の行動が世界中の人々の未来を創ります。

どんなに小さなアクションでも、みんなで学び、声をあげることがやがて大きな力となり、変化をもたらすことができます。地球上に生きる私達で行動しましょう。今すぐに。全ての生き物が幸せな日々を送れるように。

『暴走する温暖化 温暖化をとめるのはだれだ!』 「木のストロー」プロジェクトからの発信

9月最終週、分散登校中のHT(総合的な学習の時間)を使って、「木のストロー」プロジェクトの学習の一環として全クラスDVDを視聴しました。タイトルは「2030未来への分岐点暴走する温暖化～脱炭素への挑戦～」(NHKスペシャル)です。地球温暖化がもたらす影響、現実になっていること、そして現在のデータから推測する100年後の未来の地球。「地球の未来を光あるものにするためには、2030年までの私たちの行動にかかっている」ことを強いメッセージとともに訴えている内容でした。

今回の内容をより分かりやすく、興味を持って皆が視聴できるように、生徒会役員、中央委員会を中心とする「木のストロー」プロジェクトのメンバーが様々なアプローチを考えていたようです。DVDの予告編アナウンス、周知ポスターの制作など、分散登校中もchromebookを使って準備を進めていました。

これまで市中ではプラスチック問題の解決につながるオリジナルマイバッグを作成するなど、地球規模の問題について生徒会、中央委員会を中心に取り組んできました。10月13日に全校生徒で木のストローを作るワークショップを体験し、一人ひとりが地球規模の環境問題にどう向き合っていくのか、考えを深める学習を行います。この体験がゴールではなく、考えること、行動することのきっかけにつながれば…そんな思いでプロジェクトが動いています。



プロジェクト作成!
インパクト大のポスター

★10月のスクールカウンセラー開室日は、7日(木)、21日(木)、28日(木)です。

直接SC用 電話(045-972-0335)でお申し込みください